

輸送動向について（11月分）

平成26年12月

1. 輸送概況

今月は、中旬に山陽線での輸送障害が発生した影響により高速貨2本が運休となった。
（前年は高速貨12本が運休）

コンテナ貨物は、農産品・青果物で北海道産野菜の好調な出荷となったほか、食料工業品では清涼飲料水や菓子が好調で前年を上回った。一方、自動車部品や、災害廃棄物の輸送終了となったエコ関連物資で前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比99.3%となった。

なお、曜日配列で、平日が前年より2日少なかったことなどを考慮すると、コンテナ貨物全体では対前年104.1%と推定される。

車扱貨物は、石油が北海道での輸送終了と需要低迷により前年を下回ったほか、セメント・石灰石も減送となり、車扱貨物全体では前年比89.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,898	1,911	99.3%	14,173	14,051	100.9%
車 扱	775	868	89.3%	5,312	5,724	92.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	229	198	31	115.6%
	化学工業品	177	177	0	99.9%
	化学薬品	135	137	-2	98.4%
	食料工業品	297	285	12	104.5%
	紙・パルプ	282	285	-3	99.0%
	他工業品	129	139	-10	93.0%
	積合せ貨物	205	209	-4	97.9%
	自動車部品	59	75	-16	79.1%
	家電・情報機器	39	41	-2	94.4%
	エコ関連物資	34	45	-11	75.4%
	その他の	312	321	-9	97.3%
コンテナ計	1,898	1,911	-13	99.3%	
車 扱	石油	494	576	-82	85.8%
	セメント・石灰石	134	147	-13	91.3%
	車 両	85	84	1	101.1%
	その他の	62	61	1	101.0%
	車 扱 計	775	868	-93	89.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）